

# 書き言葉コーパスに見られる「死にざま」の用法と実相

塚 本 泰 造

The actual usage and meaning of ‘shinizama’  
in written language corpus

Taizo TSUKAMOTO

本稿では、ある単語に、固定した用法からの解放という変化が起こりつつあることを、書き言葉のコーパスに見られる用例に基づいて報告するものです。

## 1、はたして「死にざま」はぶざまか？

「生きざま」という現代語については、そのような「-ざま」のあることばを使うのは好ましくない、とする意見があります。たとえば、中桐雅夫（1979）の詩「嫌なことば」では、

何という嫌なことばだ、「生きざま」とは。  
言い出した奴の息の根をとめてやりたい、  
知らないのか、これは「ひどい死にざま」という風に、  
悪い意味にしか使わないのだ、ざまあ見る！

また、作家丸谷才一も、大野晋他（1989）で<sup>i</sup>、

「死に」＋「ざま」といふ、マイナス方向の二語の合成としてとらへ、それを今度は死から生に及ぼして、妙に凄みながら感傷的になつてゐたのでせう。

このときわれわれの人生は、醜悪で無残で荒涼としたものとして、ごく単純にとらへられてゐる。

と述べています。

「生きざま」が好ましくないという理由は、その「-ざま」が「死にざま」を連想させるからということですが。そして「死にざま」には、よい死をイメージさせない点があると指摘しています。次に引用する出川直樹（1995）が、いわば反「生きざま」派の代表的な見解と言えるでしょう<sup>ii</sup>。

畳の上で皆に惜しまれながらの大往生などは絶対に「死にざま」などとはいわない。満身に刃を浴び血へドを吐いて、とか、放浪の果ての野垂れ死に、などこそこの言葉にふさわしい。

この「死にざま」のイメージの延長上に「生きざま」はある。

しかし、実際に「死にざま」の使用には、大往生とは反対の方向の「死」が認められるでしょうか。管見では「死にざま」の先行研究として、長尾勇（2000）があげられるのみですが、そこでは「死にざま」について次の2点が指摘されています。

辞書の用例には「ふた目と見られないー」「あわれなー」「みっともないー」など、マイナスのイメージを感じさせるものが多いが、現在では、2-⑭に言う如く、この語自体には善悪の評価は殆ど感じられない。

それらの連想・類推・なぞりは「ーざま」という「語形」の部分で言い得ることで、意味用法に関しては、厳密なみでは対応していない。

上に引用した「2-⑭」とは、1989年出版の、三省堂の国語辞典『新明解国語辞典』第4版に見られる「死にざま」の意味記述を指します。

この語自体には、善悪の評価は全く無い。善悪の観点が分かれるとしたら、その人が大往生したか醜い死に方をしたかの相違が有るだけである。

これは最新版である第7版（2012年1月出版）にも踏襲されています。

現代語「死にざま」自体に善悪の評価がないこと、つまり客観的な「死」の、ある状態を指していることは確かでしょう。にもかかわらず、辞書の用例、また「善悪の観点が分かれるとしたら」という記述からは、「死にざま」が、マイナスの、あるいは大往生ではない死に方に対して、よく使われる傾向が確かにあることをうかがわせます。そうした語句の結びつきが確かに存在しているからこそ、現代語「生きざま」に、いわば悪影響を及ぼしているわけです。

また長尾勇（2000）では「死にざま」の用例を10例（近代語はそのうち6例）あげてあるのみで、どれだけの数の用例から帰納したのかは明らかではありません。

「死にざま」を考察の対象とするにあたっては、第一に、はたして現代語「死にざま」は「ぶざま」な死専用のものなのかどうか、多くの用例から、その記述を補強する必要があります。

次に「生きざま」は1970年代から確かな用例が見られますのでiii、「死にざま」についても近代・現代の用例をもとに考察した方がよいと考えられます。

最後に、近代・現代ならば、「死にざま」は書き言葉の方に、特に文学作品に多く見られると予想できます。

本稿は、こうした理由から、現代語の書き言葉のコーパスの検索結果にもとづいて現代語「死にざま」の実態を考察するものです。

## 2、検索結果

書き言葉のコーパスとしては以下の3つのサイトと1つのデータ集を使用しました。

・ 青空文庫（青空なまず君（テキスト版）による検索。検索結果は2012年7月19日時点のもの）iv

- ・『新潮文庫の100冊』(CD-ROM版)
- ・国立国語研究所「現代日本語書き言葉均衡コーパス中納言」<sup>v</sup>
- ・うたネット (Uta-net とも。歌詞全文検索による検索。これも検索結果は2012年7月19日時点のもの) <sup>vi</sup>

上から下に行くにしたがって、明治・大正・昭和(戦前)(主に青空文庫)・昭和(戦後)・平成へとほぼ時代順に用例が集められます。検索した文字列は「しにざま」「死にざま」「死に様」「死様」です(以下これを総称して「死にざま」)。この検索の結果、ヒットミスを除き、140例集められました。内訳は以下のとおりです。

青空文庫 47例(ただし、「死によう」とも読める「死に様」「死様」は、ルビの付いていないものを省いた。)

新潮文庫の100冊 32例

現代日本語書き言葉均衡コーパス中納言 50例

うたネット 11例

### 3、戦前からの「死にざま」の固定した傾向

青空文庫の用例からは、戦前・戦後間もなくまでの作品に見られる「死にざま」には、固定した傾向がうかがわれます。それは「無残な」系と呼べるものが多く、マイナス評価がほとんどです。

マイナス評価 35例

プラス評価 5例

中立 7例

以下に示すような、「死にざま」に直接かかる修飾語句の一覧がこれを端的に示すでしょう。連体格の修飾語句「～の」「～が」(例「今の真鯉の」「臣が」など)は省きます。

#### マイナス評価的なもの

無残な・無惨な 4 見るも無惨な 1 無惨極まる 1

浅ましい 3

怪しい 3

情けない 2

以下1例のもの

見苦しき 人の物笑いになるような みじめな 悲惨な ふびんな

痛ましい 目も当てられぬむごたらしい 碌な 奇怪な 原因不明な

不思議な

以下に続く語句からマイナス評価と判断されるもの

こんな 2 ああいう かようの このような あんな

#### プラス評価的なもの

物静かな

晴れがましい

さわやかな  
中立的なもの  
いろんな

マイナス評価的なものの例を若干挙げておきます。

と云うから簞笠を反除《はねの》けますると、情ない死状《しにざま》。

鹽原多助一代記 三遊亭圓朝 1885

(青空文庫の《》はルビ、作者名に続く数字は発行年)

「朝ならば夜の前に死ぬと思え。夜ならば翌日《あす》ありと頼むな。覚悟をこそ尊《とうと》べ。見苦しき死に様《ざま》ぞ恥の極みなる……」

倫敦塔 夏目漱石 1905

「婆どのが死んで四年目になるか。婆どのはあのような怪しい死にざまをして、今にその子細は判らぬかの」

玉藻の前 岡本綺堂 1917

道子は、さきに述べたように、無惨極まる死様《しにざま》をしていたのですが、傷は三ヶ所で左右の胸に各一ヶ所、それから右の頬に軽い切傷が一つありました。致命傷は左胸部の刺創でありました。

彼が殺したか 浜尾四郎 1929

この娘は恐らく自殺なんだろう。と言うのは……いやとにかく、歩きながら話すとして、とりあえず十方舎へ出掛けよう……あの親爺め、可愛い娘のこんな死態《しにざま》を見たならきつと気狂いにでもなっちまうよ……

とむらい機関車 大阪圭吉 1934

春枝十八お夏十六の冬に、父の山賊に天罰下り、雪崩《なだれ》の下敷になって五体の骨々微塵《みじん》にくだけ、眼もあてられぬむごたらしい死にざまをして、母子なげく中でも、手下どもは悪人の本性をあらわして親分のしこたまためた金銀財宝諸道具食料ことごとく持ち去り、母子はたちまち雪深い山中で暮しに窮した。

新釈諸国噺 太宰治 1945

一方、この時代に珍しい、プラス評価ととれる「死にざま」は上記3例を含めて5例見られます。

貞固はつくづく聞いて答えた。それは好《よ》いお思附《おもいつき》である。この度の事については、命乞《いのちごい》の仲裁なら決して聴くまいと決心していたが、晴がましい死様《しにざま》をさせるには及ばぬというお考は道理至極である。

洪江抽斎 森鷗外 1916

その上でならば、どんな死にざまをするにしても、兄の手にかかれば、本望だ。いや、むしろ、このごろの苦しみよりは、一思いに死んだほうが、どのくらいいしあわせだかわからない。

偷盗 芥川龍之介 1917

それ以来僕は古来の武士の死にかたをいろいろと研究し出した。何かの本を読んで、これだと思う武士の死にざまを、原文のまま写し取った。そしてその写しは、たしかに一巻の書物くらいにはなっていた。

自叙伝 大杉栄 1923

そのいろんな死にざまの中で、僕の心を一番動かしたのは、戦国時代の鳥井強右衛門のはりつだけだった。というよりもむしろ、そのはりつけの図に題した、誰だかの「慷慨赴死易、従容就死難」という文字だった。

自叙伝 大杉栄 1923

風は五月のさわやかな死にざま

旅日記 種田山頭火 1936

渋江抽斎、偷盗に見られる「死にざま」は、最悪の中でもどちらかというよりよい方の選択をしているというものです。ただし、偷盗の用例では死ぬのは自己であって、いわば該当者に選択権があります。大杉栄、種田山頭火の「死にざま」には、通常の「死」のあり方、たとえば天寿を全うするような「死」に対する異論的な用法があります。この時代はマイナス評価が主であったという傾向は動かないでしょう。

また、「無残な」が典型的に示すように、いわばの、その死体の外見を評価の軸にしたものが主であったこともわかります。

さらに、文型として

「死にざま」+を+する

が多く見られます (15例)。

『新潮文庫の100冊』でも用例の傾向は変わりません。

マイナス評価 22例 viii

プラス評価 1例

中立的 9例

同じように「死にざま」に直接かかる修飾語句の一覧を示します。

マイナス評価的なもの

無惨な・無残な 3 無残な骨と皮の1

以下1例のみ

慰めのない あわれな 阿呆な みじめな この上もなくみじめな

見苦しい 恐ろしい 見る蔭もない ひどい 死んでも死にきれぬ

おかしい けがらわしい (女の)

以下に続く語句からマイナス評価と判断されるもの

あんな2 こんな

明らかにプラス評価とわかる用例は、以下の翻訳作品です。

これが彼女の死にざまの、神々しい面です。

ジャン・ジュネ 花のノートルダム 1969

以上の傾向、つまりマイナス評価として、「無残な」系の「死にざま」が多かったということからすれば、反「生きざま」派の主張が典型的な使い方に基づいたものであった、ということがわかります。

では、その傾向は、今も続いているのでしょうか。

#### 4、 プラス評価の芽生えとその評価軸

「現代日本語書き言葉均衡コーパス中納言」の全 50 例からは、前節で述べた傾向とは違って、プラス評価の割合が多くなり、新しい評価の軸が生まれている事をうかがわせます。

まず、プラス評価かマイナス評価かで分けると

プラス評価	15 例
マイナス評価	23 例
中立的	12 例

となります。プラス評価の芽生えがうかがわれます。

この変化の要因の一つには、文学作品以外にも用例が集められた事があるでしょうが、また、以下に示す語句の結びつきのように、今までとは違った新しい評価の軸が生まれている点も見受けられます。

まず、従来のような、外見が穏やかな死だからプラス評価が生まれるというケースは次の 1 例のみです。

ベルリンの女学校の先生をしたが五年くらいでやめてしまった。その後ずっとベルリンにいて五十歳で死んでいる」「あんまりパツとしない男だな」「死様はいいよ。毒蛇に噛まれて誰も知らないうちに下宿で死んでいたんだ」「ふうん」「性質は温順、遠慮深く、引っこみ思案、地味で目立たない人物。

瀬戸内 晴美 諧調は偽りなり 1987

これとは逆に、評価の軸が変わったと端的に思わせる結びつきが、以下の 2 例です。

でも、扱うテーマは、結構重いです。／人生をどう生きるか。／どうやって有終の美を飾るか。／幸せな生き様って？ そして、幸せな死に様って、どんなものでしょう。／世界に引き込まれます。／考えさせられます。／いい作品です。

Yahoo! ブログ 2008

源太の死に様は、シリーズの五指に入る素晴らしさやったけんね？ さぞ掲示板は盛り上がってろーねー？ て覗いたら、おやまあ批判書き込みの方が圧倒的でやんの。

Yahoo! ブログ 2008

「幸せな」「五指に入る素晴らしさ」と結びつき、文を形成することは、それまでの「死にざま」のあり方からするならば、考えられない事です。幸せや素晴らしさを見出せるような評価の観点が生まれているわけです。

この評価軸として、プラスの評価例からは、何があげられるでしょうか？

一つ目には、自己選択性の強さがあげられます。

卑怯者呼ばわりされて、逃げる訳にはゆかん。別所小八郎の死に様よく見ておけ」／これだけを言うと、小八郎は微笑して、馬の手綱を引き絞って、必死に食らいつく本郷の手を振りほどき、迫ってくる敵の中へ駆け入って、十文字槍を振り回す。

野中 信二 西国城主 2000

趨勢より零れた彼等は落ちぶれ、気がつけば辻強盗や押し込みをしながら、ただ当て所なく旅を続ける身となっていたのだった。／「だが、それもこれまで。男の死に様見せてくれん」と正三郎は己に呟いた。もともと剣客として北条に士官した男である。強盗に零落しても、死ぬ時くらいは剣客らしく死のうと、この半年ほど考えていた

朝松 健 アート偏愛 2005

燃え尽きるその瞬間まで戦い抜こう。命が惜しいなどとは思わない。死を望んでいる気持ちも変わらない。それでも、地面に横たわってただ腐りゆくよりは、ぱっと燃え尽きたほうが、ずっとマシな死に様であるに違いなかった。

鈴木 鈴 吸血鬼のおしごと 2004

これらは偷盗の用例の発展型と考えてよいものです。ただし、違いはどのような死がよいのかという問いが出されて、あるいは問いを自ら出して、その選択権が自己にあることの方に比重が移っています。誰かの手によって死ぬのは確かですが、その誰かに焦点を当てていません。

したがって、次のような、他者の介入しない「死にざま」もプラスに転じます。

関係者の多くは、春充の死を「未来を透視し、感受性が強まった結果、自ら選んだ死」だと考えている、と恩蔵は言う。とすれば、即身成仏にも似た死に様ともいえよう。

木村 文哉 武道的身体づくり方 2005

こうした、自己選択性に重きを置くならば、死の姿・外見が「無残」かどうかは、評価の軸として相対的に低くなります。たとえば、

王齊美に恩も義もあるわけではない。王齊美の人柄と、馬鹿正直な死に様に全身全霊をあげて感動した。それが理由であった。感動が心の中に溶け込んで、その熱を失って渾沌と化するまでの間。渾沌はこの名目のために戦うことになる。

酒見 賢一 後宮小説 1989

衰亡の坂を転がり始めた平氏を率いて奮闘するが、ついに壇ノ浦に追いつめられ、義経の捕虜となる。義経の悲劇的な死に比べて、一族に死に遅れたがために、宗盛の死にざまはあまり格好よくない。だが、最後まで望みを捨てず、挽回のチャンスを狙った宗盛は、平氏最後の一門

であった。

森村 誠一 平家物語 第6巻 1996  
勝ち戦は小弥太のたまものといってもよいだろう、そして戦場にはいつも、こういう見えざる死が必ずある、おのれを殺して味方を勝に導く、しかも人の眼にはつかない、小弥太の死にざまも水底を探らなければわからなかった、かれの死躰は誰にも知られず、石を抱いたまま水底の骨になるだろう、つわものの一人一人にこの覚悟があってこそ戦に勝つのだ、

山本 周五郎 人は負けながら勝つのがいい 1998  
なんと小弥太の性根の違っていただけだろう、いつも人の後手をひくと考えたのは、かれが見えざるところで闘っていたからだ、水底の石に噛りついて死んだ、その死にざまは小弥太の平生のあらわれである、かれはつねにそういう闘いを闘ってきた、ほかの者にはそれが見えなかっただけなのだ、—おれは耻じなければならぬ、

山本 周五郎 人は負けながら勝つのがいい 1998

馬鹿正直であろうが、死に遅れようが、石にかじり付いて浮かぶことのない水死体となろうが、自らの意志で自己の死を選んだとすれば、それは高く評価すべきことだということです。

二つ目は、量より質と言えるものです。いわゆる「大往生」であっても、長く生きたかどうかよりも、充実したものだったかどうかの方が問われているのです。たとえば、

一日遅れで彼岸へ旅立った瀬戸の男がいる。／安らかに穏やかに呼吸停止し、やがて心停止となった。「自分の死を得た」満足の微笑みをたたえて。「人の死にざまは、それまでのその人の生きざまによって決まる事が多い、スタッフのかかわり方によって死を迎えるまでのプロセスも影響をうける事も事実である。

伊保庄 健 老いてこそ、始める 2005  
四十で死ぬぞ。中川家は短命の家系だからな／博迪少年はいつもの話と分かりつつも、真剣に聞き入った。／「だから、死ぬまでに、しっかりと死に様ができるように、お前は頑張らなきゃいけないんだ。

山本 弘人 共済で日本を変える男 EXA 社長・中川博迪の挑戦 2005

特に後者の例では、短命であるがゆえの「しっかりと死にざま」で終わるような人生の質を保つことが重要視されています。自己選択に価値があるなら、他者が想定するよりも自己の寿命を短くすることもあるわけですから、短命であってもよい「死にざま」になります。

さらに、歌詞では、プラス評価が逆転して増えています。

プラス評価 7例

マイナス評価 3例

中立的 1例

マイナス評価の部分は（曲名、アーティスト名、曲の発売年の順）、「跡形もなく 消えていく」（Rolling My Stone チェッカーズ 1988）ものだったり、「口惜しき火事での逃げおくれ」（老人革命の唄 泉谷しげる 2009）だったり、「何の役にも立たぬ死に様を犬死になんて」（私は犬に叱られた さだまさし 2010）言うなと犬にしかれたり、従来「無残な」系を引き継いでいます。



歌詞におけるプラス評価の「死にざま」として3例。いずれも自己選択性の強いものといえます。

小説家 森鷗外が俄然輝きを増す 彼は負けたんだらうか？ 男の生涯 ただの男になって死に様を見つけた 歴史 名作「山椒大夫」そして「渋江抽斎」に至って 輝きは極限そう 極限に達した

歴史 エレファントカシマシ 2004

愛しき人いざさらば 君が泣くならば白き虎となり 屍踏みしめて軋む別れ霜 今宵 死に様に酔えば朧月 熱き柔肌に触れもせずに はらり舞う桜と誰かの夢の跡 はらり舞う桜と誰かの夢の跡 何故に狂おしく踊る舞姫よ

舞姫 THE BACK HORN 2007

サーカス小屋のペット 鞭で火の輪くぐって しけた餌と拍手を 欲しがるか 人間様の玩具 牙を抜かれたギャング ジャングルで見た夢を 諦めるかい Show me a tusk! Wild tiger! Now is that case. 闘牛場のベッド 死に様の祭典を 勇ましいと陶醉し

WILD TIGER THE PREDATORS 2008

そして、新しい当て字を使って、その充実さを他者に訴えかけた用例が一つあります。

スポンサーに 死に様を「魅せな」 Extreme Falling Down 息が絶えようとも 世界は廻る  
Extreme fall SuG 2011

「死にざま」「見せる」という用例は他に3例あります。上に引用した、プラス評価の「男の死に様見せてくれん」（朝松 健 アート偏愛 2005）の他には、以下のような、マイナス評価の2例があります。

此頃の若いものにはおとなしくしているとつけ上がられると思ひましてね。とうとう裁判所へ駆け込みましたよ。もっともそのまえに二三度首を吊ろうとはしてみましたかね。こんなぶきりょうな女の死にざまをあいつらに見せたら、さぞまた悪口の種になるだろうと思ひますと死に切れませんでね。

豆腐買い 岡本かの子 1934

村の衆もすでに五十人ばかりは討たれてしまいました。領主さまはじめ、ご公儀の軍勢に取り囲まれ、そろそろ寄せ衆も攻め込んで来るかと思うとります。皆、見苦しか死に様ば見せんごと、ヒイデスに励んでおるところでござりました」

市川 和広 聖なる癩者 2004

ともに「見せない」ということでマイナス評価なのですが、現在は「見せる」だけでなく、さらに影響を与えるべく「魅せる」となっています xii。

## まとめ

以上、書き言葉コーパスの用例の分析により、現代語「死にざま」の具体的な用法について以下のことがわかりました。

### 1、固定した結びつきから自由な結びつきを発生させつつあること

端的には「無残な」系の「死にざま」だけではなくなくなったということ

「よい」系の「死にざま」が増えつつあること

### 2、評価の軸が、「死の姿が無様かどうか」だけでなく、「自己選択が強かったかどうか」「充実していたかどうか」という軸も加わってきていること

別の言葉で言いかえれば、明治から昭和の文学に見られるような、他者（世間？）の目を意識して律する生の終わり方もあれば、どう自分なりに人生を充実して過ごすことができたか、その証のある生の終わり方も認められつつあるようです。

そして後者の方に傾くならば、「大往生」までの目盛りは、自己調節が利くようになるのです。

## 参考文献

- 大野 晋・丸谷才一・大岡信・井上ひさし（1989）『日本語相談 一』新潮社（項目：「生きざま」は忌避すべき用語か 担当丸谷）
- 長尾 勇（2000）「いきざま考 - 「死にざま」と「生きざま」-」『佐野国際情報短期大学研究紀要』第11号
- 中桐雅夫（1979）『会社の人事』晶文社
- 米川明彦（1999）「質問5」『言語』28 - 5
- 米川明彦編（2003）『日本俗語大辞典』東京堂出版

---

## 注

- i 209頁。
- ii 20頁。
- iii 米川明彦（1999）、米川明彦編（2003）、『日本国語大辞典 第二版』による。
- iv <http://www.aozora.jp/tools/search/text/namazu.cgi>  
青空文庫は1万以上の著作権切れのテキストをおさめたコーパスサイトです。
- v <https://chunagon.ninjal.ac.jp>  
このコーパスサイトの総語数は約1億語で、「書籍、雑誌、新聞、白書、教科書、広報紙、Webの掲示板、ブログなど多様な日本語が含まれてい」るものです。1971年から2008年までの現代語の書き言葉資料集です。
- vi [http://www.uta-net.com/user/index\\_search/search1.html](http://www.uta-net.com/user/index_search/search1.html)  
このサイトは、およそ13万曲の歌詞検索が可能で、今現在の歌詞の用例も集めやすいという利点があります。

vii 文庫の出版年 1939～2000 の文学作品の用例が集まりましたが、文庫に所収される作品の成立年は 1929～1979 で、ほぼ 1970 年代以前と言えます。翻訳作品も 1970 以降のものなどは、改版前の訳が踏襲された可能性もあります。

viii 「綾吉の死にざまの凄まじさ」(『銭形平次捕物控 (二)』)「若主人の重太郎の死に様が唯事でないという事」「その死に様が怪しいから」『銭形平次捕物控 (六)』のような例もマイナス評価に含まれます。

ix マイナス評価の修飾語句は以下のとおり。

哀れな 2

父らしい (自殺者の巻き添えで事故死した) いい (皮肉で使用)

惨めな 酷い 無惨な 惨たらしい 不本意な 見苦しい 悪い

ふさわしい 気の毒な こんな (文脈より)

x これは学陽書房版で、もともとは 1992 年大和出版より出版されています。

xi 次の 2 例はプラス評価の内実がわかりにくいものでした。

そういう意味では、医師として患者さんの病気を治すというよりも、彼らが歩んできた社会のなかでの生活、死にざま、そんなものから私自身が多くものを学んだのです。私が患者さんに何かしてあげるよりも、教えられることのほうが多いです。

内藤 正久 / 日野原 重明 生きかたの選択 2002

たった一年間だけだったにも拘わらず、まるで永遠の半分のような、長い長い旅路にあったような気がする。いろいろなところについて、いろいろな人にあつて、いろいろな生き様と死に様を見た、楽しいことより、苦しいことの方がはるかに多かったが、少なくとも、実りある旅だった。

吉田 直 トリニティ・ブラッド 2003

xii 次の 3 例はプラス評価の内実がわかりにくいものでした。

切れば真っ赤な 血の出る躰 それが命と 云うものさ バカにするやつあ アー 罰あたり 人はそれぞれ 命の色は みんな違うさ 死にざまも

命 北島三郎 2002

過客の 艶は 宙にあり 俯瞰の 空に 色はなし 楽しい話なら いつでもしよう 陽が沈み 闇をこえ 今も揺るぎはない 笑える話なら 何でも聞こう 生き様も 死に様も いびつな出で 立ちも かの瞬間を 夢見てる

The Phantom of the Kabuki / 美学と品格 デーモン閣下 2009

Your remark Position 当てにならないぜ Your remark Position 戯言ばかりさ [SLUDGY]

Your remark Position 価値ある死に様を Your remark Position 嘸み付けば終わる

SLUDGY CULT the GazettE 2011

